

事例 23 民有林と連携した森林認証材の協調出荷

(関東森林管理局 天竜森林管理署)



- ・静岡県浜松市(はままつし)石切(いしきり)国有林
- ・認証材の出荷の様子

浜松市では、平成 18 年度に策定した森林・林業ビジョンにおいて、天竜材のブランド化により他地域との差別化等を図るため、森林認証の取得を推進することを掲げました。同市の認証林面積は年々増加し、現在では民有林の 5 割以上が認証を取得しています。市町村別認証取得面積は全国 1 位、関係する森林所有者数は 8 千人に上ります。また、素材生産業者、製材・木材加工業者等による CoC 認証^{*}取得も 65 民間事業者に及び、全国で最も認証材のサプライチェーンが構築されている地域のひとつとなっています。

天竜森林管理署では、こうした地域における認証材の流通拡大等に協調して取り組むため、浜松市と連携した形で、管内の国有林野においても森林認証の取得を行い、令和 2 年度には、国有林野から約 3 千 m³ の認証材を民有林材と協調して出荷しました。

引き続き、地域の一員として、関係者と連携し、天竜材の需要拡大を通じた林業の成長産業化に貢献していくこととしています。